

# 米軍はいよいよ反重力技術の公開を始めたか？：グッド/ウ

## イルコック対談

Greatchain

2019/05/24

最近の、コーリー・グッドとデイヴィッド・ウィルコックとの、35 分ほどの対談（Cosmic Briefing—David Wilcock and Corey Goode Reunion Interview 2019）の中で、いよいよ反重力（anti-gravity）技術の公開が始まるようなことが言われているので、その部分だけ訳してみよう。米海軍といっても、これはどの程度の範囲をさすのかわからない。トランプ大統領を支持し、陰謀団の壊滅を誓う、ゆるやかな広い連盟をさすといわれる、いわゆる Alliance だけの戦略的なものか、本当の開かれた米軍なのかはわからない。しかしともかくも「ディスクロージャー」の一端であることは間違いないようだ。よくわからないが、この物体から慣性を奪い、質量をなくさせる技術とは、エジプトのピラミッドでも、南米でも、巨大な石造建築に使われた、謎の古代の技術もこれではないだろうか？ しかも、切り餅を温めて重ねたような、あの石積みは何を意味するのだろうか？

---

DW: 指摘しなければならない、もう一つの重要な問題と私が考えるのは、ほんの 2 週間前に、主流メディアと言ってよいメディアが言っていることだが、海軍がもともと 2016 年に出願した特許があり、これが 2018 年 12 月に認可されたことだ。それはちゃんと記録されていることで、どんな航空技術会社でも、反重力技術を開発できるということだ。（そうだ）そして、このビデオにあげられている写真を見ると、そういうものを含めることになるが、これは黒い三角形の飛翔体だ。（その通りだ）そして、これは特許権の文書で言われていることだが、それは重力波を発生させている。それは物体の質量を減少させている。それは物体の慣性（inertia）をなくするもので、質量を減らすことでそれが起こるわけだ。（その通りだ）そこであなたに聞きたいが、海軍はなぜ今、これを公表し、自分たちが反重力の能力をもっていること、少なくとも理論的に知っていることを、一種のやさしいやり方で、大衆に知らせようとしているのだろうか？

CG: ああ、それについても一つ考えるべきことがある。その同じ週に米海軍は、新しい計画を作って UFO の報告をもっと簡単にして、それが本当のことだと受け入れたことだ。だから私は、海軍は、制御されたディスクロージャー物語のいくつかと、戦おうとしている

と思う。それは多くの空軍で行われていることで、空軍は今、TR-3B（アメリカの反重力開発）を始めている。我々は隠れることなく行動しようとしており、それはステルス戦闘機や爆撃機がそうだったのと同じ経過なのだ。それは大いに話題にされるだろう。そうなんだ、我々は何十年も前からそれを持っていた。そして今度は、それがそのあたりを飛ぶのを見ることになるだろう。そしてそれは、そんなセクシーな興奮するような話ではなくなる。それは、当たり前の話になるだろう。

DW: まあ私は、1 マイル半もの、空に浮かぶ、静かな、黒い三角の飛翔体（トライアングル）を見たことがないから、これは悲鳴をあげるような、興奮すべきことだ。

CG: その通りだが、それがまた、当たり前のものになり得るとは、驚嘆すべきことだ——この宗教にとってはね。

DW: 確かに。ひとつ私が言いたいのは、人々が第一次戦のとき、こういった巨大な空飛ぶ物体、ツェッペリンという飛行船があったことを忘れていないことだ。それらは途方もなく大きなものだったが、これは戦争のための兵器であって、その姿を見れば、それはこの上なく嫌なものだった。（そうだ）

CG: そしてこれこそ、我々が2年前に話し合ったことだ。それは、ディスクロージャーのこのゆっくりとした物語、部分ディスクロージャーの話で、人々はこの「トライアングル」の写真を、まさにニュース報道で見られるようになるだろうという話をした。そして人々は、空軍基地により多くそれを見るだろうといという話だった。

DW: それや他の基地、フロリダに現れたあの Tycho Salazar のように。

CG: そうそう、それだ。そして私は、たしかに、ニュースで「トライアングル」が報道されるのを見た。だからこれは、ゆっくりと我々を慣らして、この世界には、より高い技術が存在していることを、理解させるためなのだ。そしてそれらはすべて、どこかの時点で、宇宙軍の下に集結されて、我々にリークされ、何らかの方法で、その意識の種を我々に植え付けるためなのだ。

——以上